

特別支援教室 要覧



中根小学校（拠点校） ・ 大岡山小学校（巡回校） ・ 緑ヶ丘小学校（巡回校）

『さくら』

『ピッコロルーム』

『トライルーム』

●特別支援教室は目黒区内のすべての学校に設置されています。

I 中根小学校『さくら』グループ 特別支援教室概要

学校名	中根小学校 (拠点校)	大岡山小学校 (巡回校)	緑ヶ丘小学校 (巡回校)
特別支援教室名	『さくら』	『ピッコロルーム』	『トライルーム』
連絡先	TEL：03-3718-4506 FAX：03-3718-5229	TEL：03-3718-5306 FAX：03-3718-5682	TEL：03-3718-5406 FAX：03-3718-5389
指導形態	小集団指導・個別指導		

●このようなお子さんのための教室です。

II 入室対象児童

中根小学校、大岡山小学校、緑ヶ丘小学校の通常の学級に在籍し、おおむね学習に参加できるものの、一部の学習行動やコミュニケーションにつまずきがあるなどで、個別の支援を必要とする児童を対象とします。

【自閉スペクトラム症（ASD）・学習障害（LD）・注意欠陥多動性症（ADHD）等の発達障害、またはその傾向があり、知的発達に遅れのない児童】

○気持ちの切り替えが難しい

- ・場の空気や状況を察知することが苦手。
- ・こだわりが強く、集団行動から遅れる。
- ・急な予定の変更等を受け入れにくい。

もう休み時間
終わっているよ



○コミュニケーションがうまくとれない

- ・相手の気持ちを考えることが苦手。
- ・興味関心のあることを一方的に話す。
- ・思ったことをそのまま話してしまう。
- ・感情をコントロールできず、手が出てしまう。

あのね、それでね
○は□□なの



ずっと
しゃべってる…

○不注意で気が散りやすい、衝動的に動いてしまう

- ・整理整頓、持ち物の管理が苦手。
- ・うっかりミスや忘れ物が多い。
- ・先生の指示等を聞き逃しやすい。
- ・周囲の刺激に弱く、身体が動いてしまう。
- ・手足が出たり、大きな声で騒いだりしてしまう。



○学習のある部分、運動や作業に困難さがある

- ・学習全般にはついていけるが、音読がぎこちない、漢字の書き取りや計算等が苦手。

あれ？頑張っているのに
書き終わらない



- ・走り方やボールの投げ方等、動きがぎこちない。
- ・楽器や道具の扱いがぎこちない。

おっとっと…



●児童一人一人に寄り添う教室です。

Ⅲ 特別支援教室の指導と支援

1. 教育目標

一人一人の障害の状態および特性に応じて、困難の改善および発達の促進を図り、在籍学級の学習・生活に適応するとともに、将来にわたって意欲的に生活する児童を育てる。

2. 教育目標を達成するための基本方針

- (1)在籍学級と連携し、自立活動を中心とした指導を行う。個々の児童の状態および特性等を踏まえ、必要に応じて、各教科の内容を取り扱いながら指導を行う。また、授業時数については個に応じて設定する。
- (2)個別指導計画を作成し、個に応じた指導目標に沿って段階的に指導を行う。また、保護者と定期的に面談を行い相互に理解を深め合い、連携を図りながら支援体制を作る。
- (3)多面的な方向から効果的な支援ができるように、諸検査や専門医講師の助言を基に、児童一人一人の状態や変容の把握に努める。
- (4)指導の効果を高めるために、児童の実態を考慮しながら必要に応じて小集団による指導を行う。

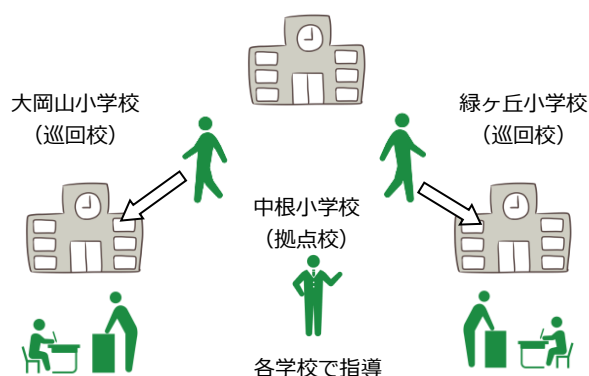
3. 指導の重点

- (1)自尊感情の向上および自己理解を深めることによって、心理的な安定を図り、自己実現の意欲を養う。
- (2)感覚・認知機能や、運動機能の向上と統合に努め、基本的行動様式の形成を図る。
- (3)基本的な生活習慣の形成とともに、適切な自己表現をはじめとした社会性を育成するための指導を行う。
- (4)自他の感情や状況の理解、行動統制に関連する内容の指導を通して、言語能力および総合的なコミュニケーション能力の向上と、対人関係の改善に努める。
- (5)児童の実態により、特に必要があるときは、各教科の内容を取り扱いながら自立活動の指導を行い、学習上の困難さの改善を図る。

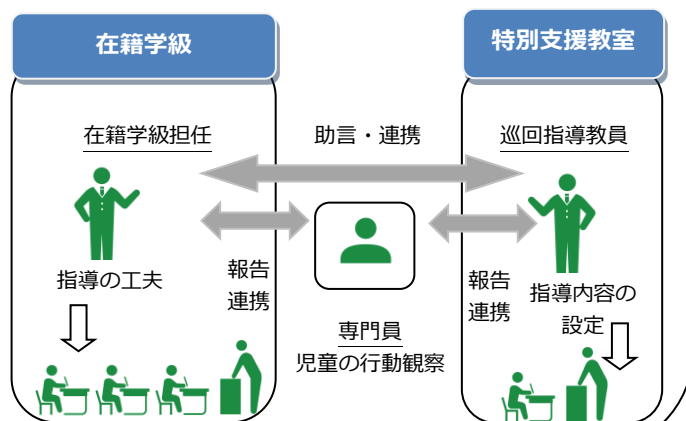
4. 指導体制

中根小学校、大岡山小学校、緑ヶ丘小学校に在籍する児童が、決められた曜日・時間に特別支援教室へ来室し、個別学習や小集団学習に取り組む。

○特別支援教室では、中根小学校から大岡山小学校や緑ヶ丘小学校に教員が巡回して、決められた曜日に授業を行います。



○巡回指導教員は、在籍学級の授業を参観したり、担任の先生と情報共有をしたりして、連携を図りながら指導を進めます。



●それぞれの特性や課題に応じた指導をしています。

Ⅳ 各校の特別支援教室における指導

Ⅰ. 指導形態・内容

指導の形態、時間数、曜日などは、児童、保護者、学校で共通理解を図り、児童の実態や特性などを考慮して、最も指導効果が上がるように考えて決めていきます。

個別学習

一人一人の特性や課題に応じて、教材を工夫し授業を組み立てます。

「自分はこんな風に考えていたのだ」
「この方法なら、うまくできそう」
と、思える体験を積み重ね、学習意欲や自信につなげていきます。



【指導内容例（ねらい）】

- 自己表現や生活の振り返りの学習
(心理的な安定を図る・自己理解を深める)
- 認知の特性に応じた読み書き計算の学習
(読み書き計算をスムーズにする)
- ビジョントレーニング
(眼球運動をスムーズにする)
- 聞き取りトレーニング
(集中力・短期記憶を養う)
- ソーシャルスキルトレーニング
(社会性を育てる)
- 体幹トレーニング
(姿勢保持の力をつける)

小集団（グループ）学習

数人のグループで、ゲームや運動をする中でコミュニケーションに必要な力や、ルール・マナーを理解する力を育てていきます。

「協力するとはこういうことか」
「相談したらうまくいった」
友達と一緒に学習することのよさを味わえるような活動を取り入れます。



【指導内容例（ねらい）】

- スピーチや言葉集めの学習
(話す・聞く力をつける・語彙を増やす)
- カードゲームやボードゲームを用いた学習
(ルールを守る・勝ち負けを受け入れる・やりとりを楽しむ・相談をする)
- 運動
(感覚統合を促す・ルールを守る・集団行動のスキルを身に付ける)
- 制作
(見通しをもつ・指先の微細運動の力を養う)

2. 特別支援教室利用の継続・終了

毎年特別支援教室利用の継続・終了について面談で相談します。継続・終了の決定は、児童と保護者の意向をふまえ、校内委員会で行います。

【利用終了となる目安】

- ・指導の効果が上がり、在籍学級での適切な支援を受けながら、学習・生活ができると判断された時。
- ・特別支援教室での指導の方法等を改善・工夫をしたが、ほとんど改善の見通しが立たない時。
(今後のより適切な支援に向けて、相談していきます。)

【利用延長となる目安】

指導期間内に指導目標を達成できない場合において、下記の3つをすべて満たす場合には、目黒区教育委員会が設置する判定委員会などにおいて審議し、指導を延長できるとしています。

- ・当年度の指導目標が未達成であり、同様の指導目標で指導を継続する必要があること。
- ・指導期間延長後の具体的な指導方針や指導計画などが明確であること。
- ・延長後1年以内で指導目標が達成できる見込みであること。

※以下の場合については、一度、退室手続きを取る必要があります。

- ・特別支援教室の学習を2カ月間欠席した場合
- ・在籍学級の学習に半日以上参加できない状況が、2カ月間継続した場合

●特別支援教室利用までの相談窓口、および就学相談の流れ

【就学前】

目黒区教育委員会 教育支援課が相談の窓口となります。

また、特別支援教室でも随時、教室見学や質問、相談に応じています。

(連絡先) 目黒区教育委員会 教育支援課 教育相談係 03(5722)9305

特別支援教室拠点校 中根小学校 特別支援教室「さくら」03(3718)4506

【就学後】

